

びばい社協
広 報 紙

ぽ
ぷ
ら

発行：美唄市
社会福祉協議会
美唄市総合福祉
センター内
(西3南3)
TEL：62-0770

みんなのサロン (仮)

市内6ヶ所に展開中

びばい社協では、今年度、市から委託を受け、わたしたちが住み慣れたこの地域で高齢となっても安心して暮らせるしくみづくり(生活支援体制整備事業)を進める方法の一つとして、市内6カ所で「みんなのサロン(仮)」を展開しています。

内容は、各地域の皆さんと相談しながら、折り紙やゲーム・ふまねっと運動・勉強会など、まずは気軽に話し合える交流を進めています。今後は、住みやすい地域についての話し合いの機会も設けていきます。

開始して日も浅いのですが、参加された方々からは、居心地がいい・誰が来ても自由に過ごせる・



ふまねっと体験行っているところ

話ができる場所が歩いて行ける所にあることが良いなど伺っています。

平成30年度の高齢者白書では、定期的な外出し、人と交流する機会を持つ人は、そうでない人よりも、自身の主観的な健康状態が良好であるとの調査結果が出ています。決まった日におしゃやれして、歩いて外出し、人と会って話をすることは、心身ともに活性化することです。

まだまだこれからですが、運営に協力して下さる方も募集していますので、ぜひ参加するところから始めて、無理なくできることをみんなで一緒に考えていきたいと思います。※なお、3月中のサロン(3月16日峰延サロン・3月19日南美唄サロン、3月26日くりの木サロン)は、新型コロナウイルス感染対策のため、急遽お休みとなります。ご迷惑をおかけいたしました。4月以降、再度計画して進めたいと思います。ご理解・ご協力を引き続きいただきますようお願い申し上げます。

【みんなのサロン 日程】※5月以降の予定

サロン名	ところ	日にち
ゆいサロン	有為団地集会所 (東4北6)	毎月第1木曜
いなほ会	いなほ会館 (西4北7)	毎月2火曜
峰延サロン	峰延福社会館	毎月3月曜
くりの木サロン	東明西福社会館	毎月4木曜
みんなのサロン	東4条福社会館	奇数月2金曜
みんなのサロン	南美唄福社会館	未定(決まり次第町内会長さんへ連絡します)

災害ボランティアセンターに関する協定書を締結

2月26日(水)、災害時に市民生活の復旧を速やかに行うための市民ボランティアを組織的に支援する「災害ボランティアセンター」の設置、運営に関する協定が美唄市役所において美唄市長、本会長との間で締結されました。

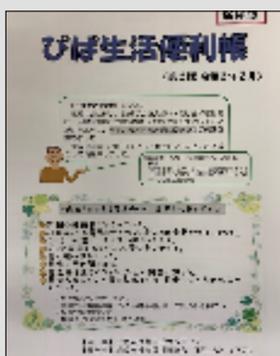
災害ボランティアは、阪神・淡路大震災を契機に、被災者支援に大きな力を発揮しました。一昨年の胆振東部地震においても、地元社協がボランティアセンターを運営しています。

本市においても、日ごろからの市民、事業者、福祉団体やボランティアとのつながりを踏まえ、今

高齢となっても少しでも長く住み慣れた地域で生活できるようにと思い、「ぴば生活便利帳」を作りました。これは、平成30年6月に有志ボランティアの皆さんとともに編集したものの第2版となつています。多くの皆様に手に取っていただきたく、2月25日(火)の新聞折込で配布しています。ちよこつと困った時のお役に立てたら、また、地域の助け合いのツールとして、

ぴば生活便利帳
第2版ができました

ご活用ください。お気づきの点などありましたら本会地域福祉課までお願いいたします。



地域福祉推進大会ほか行事の中止について

新型コロナウイルス対策により、総合福祉センターにて開催予定の左記行事は中止となりました。関係各位におかれましては、ご不便をお掛けし、大変申し訳ございませんが、市民皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

- ・3月21日(土) 10時
ろうあ者教養講座
- ・3月24日(火) 18時
登録手話奉仕員研修
- ・3月28日(土) 13時半
地域福祉推進大会

なお、社協事務局・介護サービス等の事業は通常通り行っております。

市民の皆様には常日頃より本会の運営にご協力・ご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

平成で始まり、令和を迎えたこの年度を振り返り、事業推進の概要と財政状況についてご報告いたします。

美明市はご存知のように高齢者人口は40%を超えています。また、人口減も深刻な状況の中で事業経営が一時期、不安定な状況に至ることがあります。

財政収支健全化のためにこの四年間、職員の意識を改革し、経営参加の意識をもつて進める事に努めてまいりました。

介護保険事業は全事業共に黒字経営に至っております。特に令和元年度は職員退職に伴う補充もなかなか人手不足が深刻な折、職員間の協力にて補充のない状況で事業を行って参りました。その結果、例年よりも数字は好転しました。職員に負担になる部分はありませんが、全事業安定した経営状況で推移してまいります。職員の中には、日々の経営に関する事を考えながら従事する姿も見られるようになってきています。人手がない分、協力和知恵を出し合いながら乗り越える忍耐力をつけることができたのが今年

令和元年度を振り返って

美明市社会福祉協議会
会長 黒宮 健治

度の収穫ではないかと考えております。昨年十一月には、各寄市社協の不正受給が問題になり、社協に対する信頼感が失われるような事件がありました。美明市協はそのようなことがないように、今までも、これからも法令順守の事業経営を行っていく所存でございます。

一方、地域福祉事業においては、今年度、市より新規事業として「高齢者生活支援体制整備事業」が委託され、市内6ヶ所において、市民が集まれる「サロン」事業を始めています（表面）。

介護保険事業では全国的に人手不足による事業経営の厳しさや深刻な状況にある傾向がみられる中で、元気な高齢者が社会の中で活躍し、お年寄りから子どもまで、「このまちに暮らしてよかった」と思える安心して暮らせる街づくりを目標に努力していきたいと考えます。そのため、市民皆様からのご協力、ご支援を賜りながら、引き続き、事業経営の安定化、地域福祉推進に努めてまいります。ご協力を宜しくお願いいたします。

市民ふれあいまつり

令和元年7月28日(日)



今年も夏の恒例行事「市民ふれあいまつり」を開催しました。当日は天気にも恵まれ、1,073名のお客様にお越しいただき、ステージ発表や福祉団体等によるバザー・縁日などで会場は賑わいました。ふれあいまつりは市内福祉団体・施設等で構成される実行委員会主催で開催、今年も新たに市内福祉施設さんが参入いただき、来場者はもちろんのこと、関係機関・団体とのつながり・ふれあひも広がる機会となりました。猛暑の中、ご協力いただきました関係者、来場者の皆様、ありがとうございます！



赤い羽根共同募金

10月1日～12月31日

今年も3ヶ月間に渡り、赤い羽根共同募金運動を実施しました。赤い羽根の運動は、広く町内の皆様からいただく戸別募金、事業所等からお寄せいただく大口募金など、市内各所にて運動が展開されます。特に、10月1日から5日間の日程では、市内ボランティアによる街頭募金活動を行い、多くの市民の皆様にご協力をいただきました（活動者数は15団体、延べ100名を超えました）。12月6日にはチャリティ事業として「赤い羽根ディスコ」を開催し、来場者は約250名、益金50万円を赤い羽根共同募金として寄付することができました。

今年の総募金額は263万6千78円となり、お寄せいただいた募金は災害支援や市内福祉活動などに活用されます。皆様からの大きなご協力、まことに有難うございました。【写真上 街頭募金のようす】



人材の育成

朗読奉仕員養成講習会
修了生による「朗読会」

本会では、手話・要約筆記など各種講習会を開催しています。視覚障がい者に対する朗読を学ぶ講座では修了生が「朗読会」を開催、『レ・ミゼラブル』などの作品を朗読しました。本講座の修了生からなる「びばい言葉の葉」では、本講座で得た技術を生かし、視覚障がいのある方へ市広報誌メロデーの録音等を定期的に行っています。



ボランティアのちから



昨年安田侃彫刻美術館アルテピアッツア美明で開催された子どものアート教室（はるの木空知主催）に尚栄高校ボランティア

ア局の皆さんがボランティアとして参加、良きお兄さん・お姉さんとして寄り添い、見守りをしながら子どもたちのアート作成を手伝い下さいました。ボランティアア局の皆さんは他にも募金活動など本会の福祉活動にも協力頂き、高校生らしい元気な姿で様々な市民活動をつなぎ、支えて下さっています。